

令和4年度第3回草津市健幸都市づくり推進本部会議（論点整理）

協議1

各施策の主な取組に係る令和3年度の実績および令和4年度の計画について

《概要》

- 別添資料1・2の内容は、9月20日（火）開催予定の草津市健幸都市づくり推進委員会（外部委員会）の資料となります。
- 資料1は、健幸都市づくりの全体の状況と現時点での達成状況をとりまとめた資料です。草津市健幸都市基本計画の基本方針ごとに、主な取組の進捗状況と目標の達成状況等を掲載しています。
- 資料2は、本計画の各施策における主な取組（重点事業等）について、令和3年度・の実績および令和4年度の計画についてとりまとめた資料です。

《論点》

- 資料2の実績や事業計画について、本計画の各基本施策の方向に沿った事業の進捗が図られているか。
- 各部局における取組が、健幸都市の実現に向けた健幸都市づくりを意識したものとなっているか。

協議2

草津市健幸都市づくり基本方針（くさつ健幸ガイドブック）素案について

1. 審議・検討経過

草津市健幸都市づくり基本方針につきましては、第1回幹事会（6/28）および第2回本部会議（7/5）にて素案をお示しさせていただいたところですが、そこでいただいた御意見等を踏まえ、別紙のとおり内容の修正を行っておりますので、確認をお願いします。

2. ポイント（※特に協議・審議を要する事項）

今回策定する「草津市健幸都市づくり基本方針」に係る「目標」および「進捗管理」について、問題がないか御協議願います。

(1) 目標について

前回会議での御意見や、その後の関係課との協議等を踏まえ、基本方針において設定する目標は以下の2つとします。

① 健康寿命（平均自立期間）の延伸

現状値（令和2年度）

目標値（令和14年度）

男性 82.58 歳、女性 85.92 歳 ⇒ 男性 83.66 歳（+1.08 歳）、女性 86.60 歳（+0.66 歳）

② 「健幸（＝生きがいをもち、健やかで幸せであること）に暮らせている」と思う市民の割合の増加

現状値

目標値（令和14年度）

なし ⇒ 60.0%

<参考> 健幸なまちだと思ふ市民の割合：47.0%（令和3年度）

(2) 進捗管理について

既にお伝えしておりますとおり、第6次総計の基本構想における将来ビジョンとして「健幸創造都市」を掲げており、総計を推進することが、健幸都市の実現に繋がるという認識のもと、本基本方針において、個別事業・取組の位置付けは行っておりません。

しかしながら、健幸都市づくりの推進に関し必要な事項についての調査審議を担う「草津市健幸都市づくり推進委員会」を設置しており、市全体として目標と取組の進捗管理を行う必要があると考えられることから、関係各課の負担等にも配慮しつつ、進捗管理の手法として、上記(1)の目標指標の状況に加えて、第6次総計の施策評価やベンチマーク（関係の深い主要事業を抜粋）を活用することで、健幸都市づくりに対する評価・進捗管理を図ってまいりたいと考えております。